

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	塩野ふれあい広場	所在地	大字塩野166-1				
施設分類	産業系施設	所管課	農林課				
財産区分	行政財産	延床面積 (m ²)					
居住誘導区域	非該当	防災関連施設	非該当				
設置根拠	須坂市中山間地域総合整備事業施設条例	設置の目的・経緯	中山間地域の農林業の振興及び活性化並びに住民の健康増進を図るため。（須坂市中山間地域総合整備事業施設条例趣旨より）	交通アクセス			
事業内容	ソフトボール場・ゲートボール場	貸付の有無	有				
管理運営の状況	指定管理	委託内容	維持管理委託				
備考（その他特記事項）							

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	1	地下	建築面積	延床面積	9
構造 (主たる建物)	W造		建築年度 (主たる建物)	2000	築年数 (主たる建物)	24
取得価格	3,790,000		耐震化の状況			
帳簿原価	3,790,000		バリアフリー対応		未対応	
減価償却累計額	3,789,999		省エネルギーの対応状況		未対応	
老朽化率	100%		施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位 (千円)

		2022	2023	2024	3年間の平均値
費用	人件費				
	委託料				
	光熱水費				
	維持補修費				
	減価償却費	0	0	0	0
	指定管理料	159	159	159	159
	その他				
費用合計		159	159	159	159

収入	利用料等収入				
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		0	0	0	0

収支	-159	-159	-159	-159
利用者一人当たり収支	-0.19	-0.17	-0.13	-0.16

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	中山間地域の方々をはじめどなたでも				
開館時間	平日	午前5時～午後7時			
	休日	午前5時～午後7時			
休館日	なし				
駐車場の有無	有				

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	851	921	1,205	992	21%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用時間	283	284	280	282	-1%
年間利用可能時間	5,110	5,110	5,110	5,110	0%
稼働率	6%	6%	5%	6%	-1%

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	塩野ふれあい広場
-----	------	----------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	合計	2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率	D	-2	過去3か年平均が10%未満
	合計	1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	D	-2	100%
耐震性能			
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
	合計	-2	

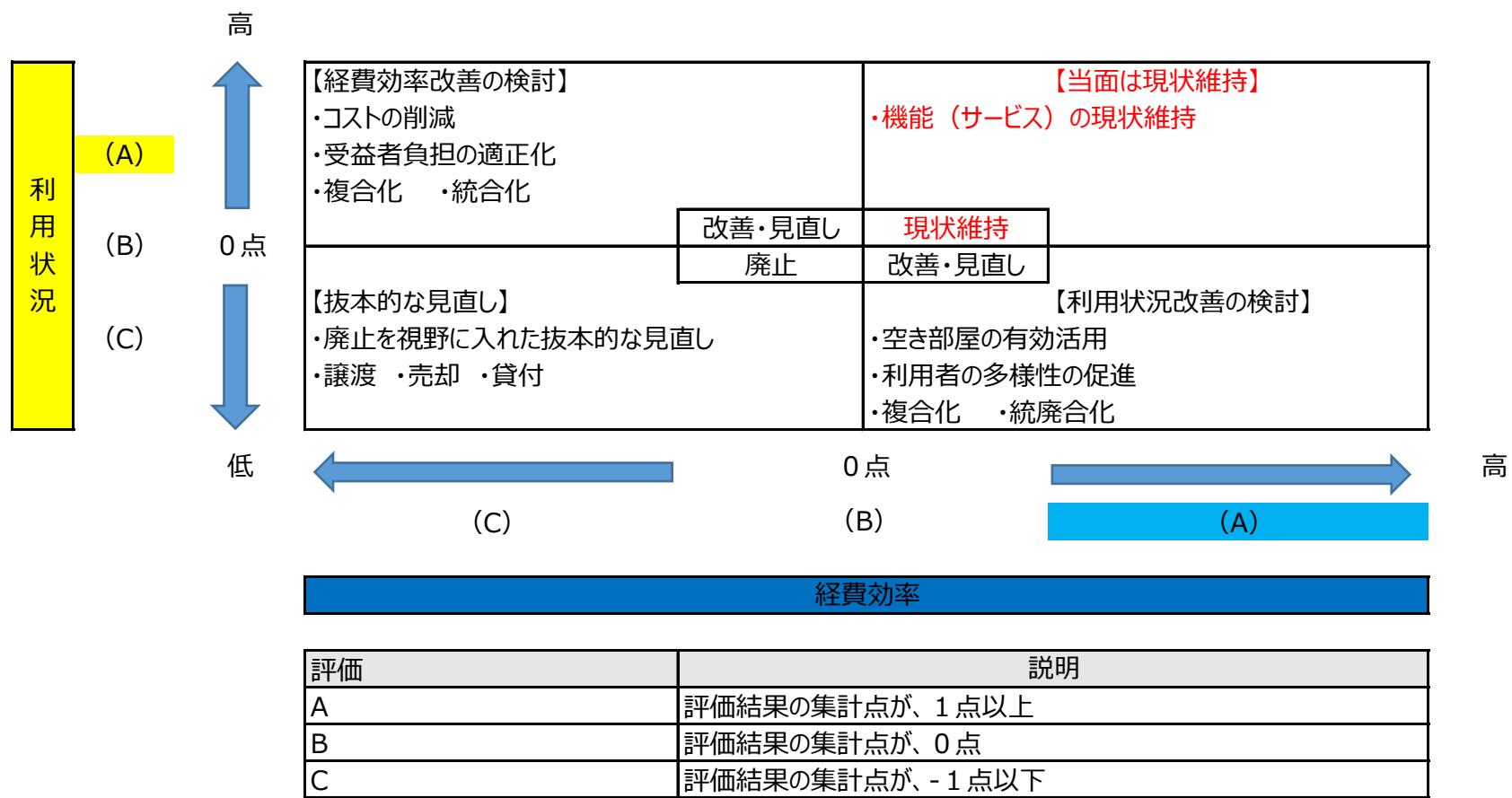
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	2
縦軸	必要性による評価	1
	合計点数	3

【当面は現状維持】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-2
縦軸	必要性と経費効率からの評価	3
	合計	1

【長寿命化の検討】

